

계정 설정

설정 > 계정 설정으로 이동합니다..

1. 설치된 애플리케이션의 계정을 추가합니다..
2. 기존 계정에 대한 데이터 동기화를 관리합니다.

공장초기화

1. 설정을 열고 시스템 설정 > 고급 > 재설정 옵션으로 이동하여 공장 초기화를 수행합니다..
2. 공장 초기화는 모든 개인 데이터를 삭제합니다. 초기화하기 전에 데이터를 백업하십시오.

날짜와 시간

설정 > 날짜 및 시간 설정으로 이동합니다.

1. 자동 날짜 및 시간 : 인터넷에 연결되었을 때 자동으로 현지 시간으로 동기화하려면 켜십시오. 이 기능을 끄면 날짜와 시간을 수동으로 조정할 수 있습니다..
2. 자동 시간대 : 인터넷에 연결되었을 때 자동으로 현지 시간대와 동기화하려면 켜십시오. 이 기능을 끄면 수동으로 시간대를 조정할 수 있습니다..
3. 24 시간 형식 : AM / PM 및 24 시간 표시 형식 중에서 선택합니다.

USB OTG 기능

USB OTG 기능을 지원하여 다른 휴대용 장치 (플래시 드라이브, 모바일 하드 디스크, 마우스 및 키보드)와 데이터를 교환합니다..

1. 장치는 OTG 케이블을 통해 장치에 연결되어야 합니다..
2. OTG 기능을 사용하는 동안에는 배터리를 50 % 이상 유지하십시오. 고전력 소비 장치에는 별도의 전원 공급 장치가 필요합니다.

Android ユーザーマニュアル

セットアップガイド

このセットアップガイドは、タブレットの開始、システム言語、タイムゾーンの選択、Wi-Fi の接続、ユーザー名およびデバイス名の設定などを説明します。



ボタン機能

●電源ボタン:



◎本機の電源が切れている状態で、電源ボタンを3秒間長押しすると、電源が入ります。

◎本機の電源が入っている状態で、電源ボタンを短押しすると、画面がオン/オフになります。

◎本機の電源が入っている状態で、電源ボタンを3秒間長押しすると、シャットダウンのインターフェイスにアクセスし、10秒間長押しすると、強制的にシャットダウンすることができます。

●音量プラスボタン: 押すと音量が上がります。



●音量マイナスボタン: 押すと音量が下がります。



バーチャルボタンバー



ホームボタン

クリックするとホーム画面に戻ります



戻るボタン

クリックすると前の画面に戻ります



タスクボタン

クリックしてアプリを表示・切り替え・終了します



メニューボタン

クリックするとメニューが表示されます



スクリーンショットボタン

クリックして現在の画面をスクリーンショットします



音量プラスボタン

押すと音量が上がります



音量マイナスボタン

押すと音量が下がります

コントロールセンター



ユーザー

クリックしてローカルユーザーアカウントを切り替えます



設定

クリックしてシステム設定にアクセスします



バッテリー

クリックしてバッテリー設定にアクセスします



Wi-Fi

クリックして Wi-Fi がオン/オフになります



Bluetooth

クリックして Bluetooth がオン/オフになります



シーンモード

クリックして素早く音量を調整します



機内モード

クリックして機内モードがオン/オフになります



自動回転

クリックして自動回転がオン/オフになります



GPS

クリックして GPS がオン/オフになります



Miracast

クリックして Miracast がオン/オフになります

Wi-Fi 接続

1. 「設定」を選択して、「ネットワークとインターネット設定」を選択します。
2. Wi-Fiをオンにして、アクセスポイントを選択して、パスワードを入力し、接続します。

モバイルネットワーク

1. SIMカードを挿入して、電源が入っています。
 2. 「設定」を選択して、「ネットワークとインターネット設定」を選択します。
 3. 「モバイルネットワーク」をオンにします。
- *対応機器のみに適用します。

Bluetooth 接続

1. 「設定」を選択して、「デバイス接続設定」を選択します。
 2. Bluetoothをオンにすると、システムが自動的に近くのBluetoothデバイスを検索します。
 3. 接続可能なBluetoothデバイスをクリックし、接続確認画面の「ペア」を選択します。
 4. 相手のBluetoothデバイスが確認して、接続完了します。
- *対応機器のみに適用されます。

ディスプレイ

- 「設定」を選択して、「ディスプレイ接続設定」を選択します。
1. 明るさのレベル: バーをスライドさせて画面の明るさを調整します。
 2. 壁紙: 壁紙を設定します。
 3. スリープ: 画面のタイムアウトを設定します。
 4. フォントサイズ: システムフォントのサイズを設定します。
 5. 自動回転: 画面の向きを固定したり、デバイスの向きに応じて自動的に画面を回転させることができます。

音

「設定」を選択して、「音設定」を選択します。

- 1.音量: バーをスライドさせてメディア、アラーム音や着信音の音量を調整します。
- 2.通知: 通知音を設定します。
- 3.着信音: 着信音を設定します。
- 4.他の音: 画面ロック音やタッチ操作音の効果を設定します。

HDMI

テレビの電源を入れ、入力ソースをHDMIに設定し、HDMIケーブルで本機をテレビと接続します。

- 1.モード: 画面の解像度やリフレッシュレートを調整します。
 - 2.ズーム: 画面出力の表示比率を調整します。
 - 3.画面調整補正: 画面出力の表示比率の微調整します。
- *対応するデバイスのみ適用されます。

バッテリーの状態

「設定」を選択して、「バッテリー設定」を選択し、バッテリーの使用状況を確認します。

バッテリーインジケーター: スイッチを切り替えると、バッテリー残量はパーセントで表示されます。

パソコンとの接続

USBケーブルでPCと接続し、デバイスのデータをコピーまたは削除することができます。

- 1.Windows 7以上のOSでは、デバイスをPCに接続するとMTPドライバーが自動的にインストールされます。
- 2.Windows XPの場合は、デバイスを接続する前にWindows Media Player 11をインストールする必要があります。

アプリケーション管理

「設定」を選択して、「アプリケーション設定」を選択し、アプリのアンインストール、キャッシュやデータの削除、アプリの強制終了ことができます。

1. サードパーティ製アプリケーション: アンインストール可能です。
2. システムアプリケーション: アンインストール不可です。

ユーザー

「設定」を選択して、「ユーザー設定」を選択します。

1. 複数ユーザーのログインも可能です。
2. 各ユーザーが自分のアプリケーションやコンテンツを設定することができます。

位置情報

「設定」を選択して、「位置情報設定」を選択します。

1. スイッチで位置情報サービスをオン/オフにします。
2. 位置情報要求が表示されたり、アプリごとに位置情報の許可を設定したりすることができます。

セキュリティ

「設定」を選択して、「セキュリティ設定」を選択します。

1. スクリーンロック: スワイプ、パターン、pinコード、パスワードのロック解除方法が選択可能です。
2. 提供元不明のアプリ: 提供元不明のアプリのインストールを許可または拒否します。

言語と入力

「設定」を選択して、「言語と入力設定」を選択します。

1. 言語: システム言語を選択します。
2. 入力: デフォルトのシステム入力を選択または設定します。

アカウント管理

「設定」を選択して、「アカウント設定」を選択します。

- 1.インストールされたアプリケーションのアカウントを追加します。
- 2.既存のアカウントのデータの同期管理をします。

工場出荷時のリセット

- 1.「設定」を選択して、「システム設定」、「アドバンスド」、「リセット」を選択し、リセットします。
- 2.ファクトリーリセットをすると、すべての個人データが削除されます。リセットする前に、データをバックアップしてください。

日付と時刻

「設定」を選択して、「日付と時刻設定」を選択します。

- 1.日付・時刻自動調整：オンにすると、インターネットに接続したときに自動的にローカルタイムに同期します。この機能をオフにすると、手動で日付と時刻を調整することができます。
- 2.タイムゾーン自動調整：オンにすると、インターネットに接続したときに自動的にローカルのタイムゾーンに同期します。この機能をオフにすると、手動でタイムゾーンを調整することができます。
- 3.24時間表示：AM/PMと24時間表示のフォーマットを選択できます。

USB OTG機能

本機はUSB OTG機能に対応できます。他の携帯端末（フラッシュメモリ、モバイルハードディスク、マウス、キーボード）とのデータ交換が可能です。

- 1.デバイスはOTGケーブルで本機と接続する必要があります。
- 2.OTG機能を使用する際は、バッテリー残量を50%以上にしてください。高消費電力のデバイスには独立電源が必要です。

Charger Specifications

ⓈCharger specs should match the input voltage/current shown on the back of the product.

ⓈPlease only use chargers that meets the above specification.

ⓈPlease do a full recharge every 3 months if the product is going to stay unused for an extended period.

ⓈFor first use after storage, the product may require a 30 minute charging session before charging status is indicated.

Table of hazardous substances contained in the product.

Component name	Hazardous substances							
	(Pb)	(Hg)	(Cd)	(Cr (VI))	(PBB)	(PBDE)		
Device	✗	○	○	○	○	○		
Digital player	○	○	○	○	○	○		
This sheet is made according to SJ/T 11364. ○: Means the content of this hazardous substance is under the limitation of GB/T 26572. ✗: Means the content of this hazardous substance is over the limitation of GB/T 26572.								

Component	Hazardous Substances		
Device			
Accessories			

This table is proposed in accordance with the provision of SJ/T 11364.

X: Indicate that said hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement of GB/T 26572.

O: Indicate that said hazardous substance in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement of GB/T 26572.

This series of products implement the national standard: GB 28380-2012

(Microcomputer Energy Efficiency Limit and Energy Efficiency Grade)

Guangzhou Shangke Information Technology Limited

Teclast official website: <http://www.teclast.com>

Technical support: aftersales@sk1999.com

Made In China

FCC Radiation Exposure Statement:

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons regardless of age or health. The SAR limit of USA (FCC) is 1.6 W/kg averaged. Device types: Tablet PC (FCC ID: WF5-ST10) has also been tested against this SAR limit. SAR information can be viewed on-line at <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/>. Please use the device FCC ID number for search. This device was tested simulation typical 0mm to body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, the use of accessories should maintain a separation distance between the user's bodies mentioned above, the use of accessories should not contain metallic components in its assembly, the use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

FCC Warning

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

NOTE 2: Any changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.